

クルージング(セミナー)の開講

「文部科学省・日中韓等の大学間交流を通じた高度専門職業人育成事業」で本学に留学した大学院生を対象として、クルージング(セミナー)を開催しました。このクルージングは、セミナーの一環として本学練習船にて実際に船上生活を経験することで、船や海に関する理解を深めることを目的としています。

今回のクルージングは、以下のスケジュールで開講しました。

平成 23 年 12 月 17 日 クルージングに関する事前講習

12 月 21 日 クルージング第 1 日目

東京豊海ふ頭出航ー東京湾および相模湾にて海洋観測実習ー船内講義「造船学概論」受講ー館山湾にて錨泊

12 月 21 日 クルージング第 2 日目

船内講義「ロープワーク実習」受講ー横浜港入港(解散)

はじめに、乗船に先だって事前講習が行われました。クルージングのスケジュールと船内での諸注意について、練習船「神鷹丸」林敏史船長と担当指導教員の渡邊豊教授が参加留学生に説明しました。



事前講習の様子



説明する林船長(右側)と渡邊教授(左側)

12月21日、クルージングが始まりました。今回は、本学練習船「神鷹丸」にて開講しました。神鷹丸は総トン数 649 t で、本学では海鷹丸(1886 t)の次に大きな船です。



本学練習船「神鷹丸」

出航前に乗船式が行われ、乗組員紹介と船内での諸注意説明の後、参加者全員が自己紹介しました。なお、今回のクルージングは、学部4年生を対象とした「乗船漁業実習Ⅳ」と合同の実習としました。



乗船式 林船長からの挨拶



留学生も自己紹介しました

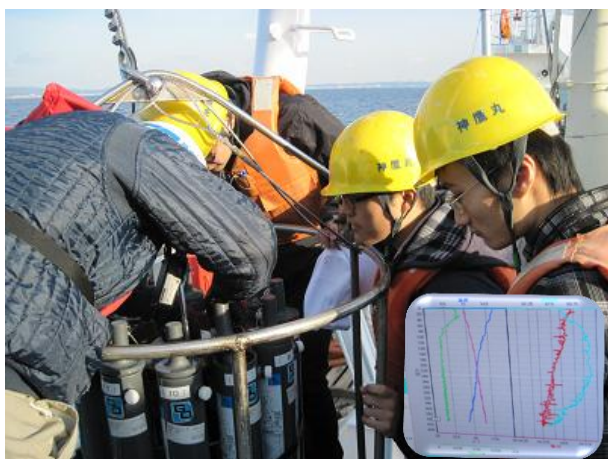
船内では、海や船に関する様々な実習が行われました。ライフジャケットの装着方法、片付け方、船内の見学、CTD(Conductivity Temperature Depth profiler)による海洋観測、船乗りとしての規律の体験、渡邊教授による造船学に関する講義、生活にも役に立つ甲板でのロープワーク実習など、貴重な経験になりました。



ライフジャケットの装着方法



ブリッジで海図の説明



CTD による海洋観測実習 (観測画面)



一等航海士からの夜間巡検



渡邊先生による講義



ロープワーク実習



22日朝のデッキウォッシュ(甲板清掃)



横浜港への入港時コンパスデッキ配置

22日午後2時、予定通り横浜港に入港しました。下船式の後、解散となりました。林船長はじめ神鷹丸乗組員の皆様、ありがとうございました。



下船式の様子



林船長(中央)とクルージング参加者